

ボイス & ボイス

サポートが必要な方にも旅の楽しみを

夫婦で旅行会社を設立 添乗員・介護ヘルパーを兼務中

昨年10月に、主人と2人で会社を立ち上げました。

通常の旅行の企画・手配だけでなく、介護が必要な方の手助けも行う旅行会社です。

社名は、『アラベラサービス』。スペイン語で、ア

ラ (A la) とは翼、ベラ (Bella) とは美しいという意味です。

旅行やお出かけが快適となるよう、美しい翼となってお手伝いしたいという気持ちを込めています。

もともと、20年以上にわたり、国内外の旅行添乗員として仕事をしていました。

添乗員の仕事と併せて、世界遺産アカデミー認定講師の資格を活かして、市民講座などで講師を。



榎利絵子さん(写真左)と、ご主人の一彦さん

お話
神奈川県中部(笹屋薬局)
榎利絵子さん



同時に、介護施設にも勤め、介護福祉士の資格を取りました。

起業を決めてから、トラベルヘルパー1級の資格も取得。添乗員として同行するだけでなく、介護もできるように。

主人も、20年以上、旅行代理店に勤務。介護ヘルパー、第2種運転免許を取得しています。

個人旅行では、介護のプロが付き添っていても、不意な利用施設・交通等のトラブルには太刀打ちできないことが

あります。

一方、添乗員だけではオムツ替えや、食事・入浴の介助はできません。

私どもであれば、どちらも可能ですし、最初からの企画・プラン作りも行っております。

先日、第1号となるお客様、要介護2、80歳の男性を奥飛騨温泉や湯田中温泉へ。紅葉も素晴らしく、喜んでいただくことができました。

介護が必要なために、外出や旅行を諦めている方のお手伝いを、もつともっとしていきたいですね。



世界遺産『白川郷』の町並み



新高千穂ロープウェイの車内からは、お客様がご自分のカメラで撮影を



鬼押し園(群馬県)内を車いすで散策